



2014～15 年度  
国際ロータリー会長

ゲイリー C. K. ホアン

# Weekly Report Niigata



## ロータリーに輝きを

2014～15 年度 国際ロータリーのテーマ



2014～15 年度  
新潟ロータリークラブ会長

高橋 秀樹

新潟 RC 7 月第 5 例会 (2014.7.29) No.3050

### (1) ロータリーソング「我らの生業」斉唱

### (2) 高橋 秀樹会長挨拶

私は福島市出身で、大学 4 年間も地元から他県の大学に往復 6 時間かけて普通列車で通っていたのですが、ずっと通い詰めていた福島市内の喫茶店がありました。誰もが見過ごしてしまう小さな店で、カウンターに沿って 8 つしか席がありませんでした。身体のがっしりした白髪のおじいさんとその奥さんがカウンターの中において、メニューはコーヒー、紅茶、ココア、ジュース、トーストの四つだけで、紙のメニューはありませんでした。

しかし、このお店に客が絶えることはなく、満席で座れないときもしばしばでした。理由は二つありました。お爺さんのマスターが博学で話題が豊富で誰とでも話が盛り上がる魅力的な人物だったこと、そして、常連のお客さんがみんな顔見知りです。とても仲が良かったことです。40 代から 70 代の様々なお客さんが入れ替わり立ち替わりやって来て楽しそうに話をしては帰って行き、私はその話が面白くて、日曜日などはずっと居座っているいろいろな人の話を聞いて過ごすこともありました。ただただ楽しかっただけなのですが、今にして思うととても良い勉強をしていたのだと思います。

ところが、一年に一度、夏の盛りに、マスターがむっつりとして一日を過ごすときがありました。通い始めたころ、マスターがその理由を教えてくださいましたが、若いころ戦争中に爆撃をうけて焼け野原になった町を、焼け焦げになった無数の死体をいくつも見ながら、何時間も歩いたことがあったそうです。けっしてこの景色を忘れまいと心に誓ったそうです。当時何日も続いた空腹と一緒に思い出すために、毎年 8 月 15 日は断食して過ごす、とのことでした。常連のお客さんたちは皆このことを知っていて、その日は店内の時間が穏やかに静かに過ぎて行く日になっていました。

いまではもうこのお店はありませんし、マスターもずいぶん前に亡くなりました。マスターの断食の日のこともすっかり忘れていたのですが、それを思い出させてくれたのが、新潟ロータリークラブの例会でした。かつて横山嘉一さんという会員さんがいらっしゃいましたが、この方が時々夏の盛りの頃に自ら卓話を希望してお話しなさいました。お若いころ、大陸の戦線で出征した時のお話しでした。

副官として任務につき、ある時、敵軍と交戦するかどうか非常に緊迫した状況の中で難しい判断を迫られたそうです。悩んだ上官から相談され、嘉一さんは、戦闘に入るべきではないと進言し、その結果、膠着状態が緊迫したまま続くことになったそうですが、実はその時点で、既に終戦を迎えており、その情報が前線まで伝わっていなかったのだそうです。終戦の連絡が来て、遂に戦闘が行われずに済んだそうですが、多くの人々の命を救うことに貢献できてとても良かったとお話ししていらっしゃいました。私は、いかに勇敢に戦ったかではなく、いかに戦闘を防いだかということ誇らしげに語っている嘉一さんの姿を見て、そして、それを皆で頷きながら聞いている会員のみなさんの姿を見て、「ああ、いいクラブに入ったな」と思い、普通だった喫茶店のマスターの断食の日のことを思い出しました。

いきなり話が飛躍して恐縮ですが、地区で行われたセミナーの際に、とある中規模のクラブのかたが仰っていました。若い会員がどんどん入ってくるのは良いのだが、年配のベテラン会員が次々と辞めていく。若い会員は、ロータリーに入れば、大先輩たちから貴重な有意義なお話を聴くことができると思っていたのに残念だ、と嘆いている、とのこと。横山嘉一さんのお話はまさにそのようなものだったかと思えます。ベテランロータリアンの方々の知識と経験は、クラブのかけがえのない「財産」でありましょう。

我らが新潟ロータリークラブは、昭和 15 年 4 月 23 日に創立された、日本で 36 番目、5244 という国際的な承認番号を有する、いわゆるナンバークラブであります。そのようなナンバークラブの何が素晴らしいかと言えば、その知識と経験という「財産」でありましょう。このような「財産」の蓄積において、我らがクラブは、新潟の他のクラブ、また日本の多くのクラブの追随を許さないものであります。是非とも、もっとその恩恵にあずかりたいものであります。事業計画書の文章はこのような気持ちから記しましたので、ご確認いただけましたら幸いです。

さて、このような「財産」は、決して深刻な重たいものばかりではありません。数年前、齋藤庫之丞さんが親睦委員長で、新年家族会の設営準備をしていたときのことで、齋藤さんによると、子供の頃この家族会に来たことを覚えていて、知り合いのおじさんやおばさんがたくさん集まっていたととても賑やかだったそうです。そして、子供たちは

子供同士で集まって、会場を駆け回って遊び、とても楽しかったそうです。「あれはなかなか良いものでしたよ」ととても懐かしげにおっしゃっておられました。ロータリー活動の楽しさを時を越えて再認識させてくれるお話です。

齋藤さんのこのお話を、先週の海岸清掃のときに思い出しました。若槻さんがお子さんをお連れでしたが、最初は恥ずかしがっていたお子さんがだんだん馴染んできて、何人かのかたと握手していました。ひょっとしてこのお子さんが将来成長して新潟ロータリークラブに入り、「子供の頃浜辺のロータリーの集まりでおじさんたちと握手したことを覚えています」とか例会で話したりしたらどうでしょう？ 想像しているだけで何だか楽しくなってきましたか？

このように、過去の記憶や思い出は、忘れてはならない大切なことを振り返るだけではなく、将来の可能性を気づかせてくれるものでもあります。ぜひ、伝統ある我が新潟ロータリークラブの、記憶や思い出という＜財産＞を、大いに活用していきたいものです。

### (3) ビジターの紹介・パナー交換

水上貴博君 1770 地区 Mennecy Vald' Essonne

(メナー ヴァルド エソンヌ) RC (フランス パリ近郊)



### (4) 新会員の紹介



日本銀行新潟支店  
支店長 千田 英継  
インターアクト委員

日本銀行の千田英継でございます。このたび、若杉様、小山様からご推薦を頂き、伝統ある新潟ロータリークラブに入会させて頂くことになりました。日本銀行には平成元年に入行し、景気や金融機関経営の調査をはじめ、金融市場や決済の仕組みの整備、金融政策手段の企画・立案など幅広い業務に携わって参りました。この6月に新潟支店長として着任致しました。日銀新潟支店は7月1日に100周年を迎え、「地域の皆様と共に、次の100年へ」をスローガンに、これまで以上に地域の皆様のお役に立てるよう、新たな歩みをスタートさせております。私も微力ではありますが、各地域の方々との交流を通じて、新潟県経済の発展に向けて、お役に立てればと思っています。また、ロータリークラブでの活動を通じて、異なる業種の方々との

親睦を深めることで、人としての幅を広げ、成長していければと思っています。若輩の身でございますが、よろしくご指導のほどお願い致します。

### (5) 定款細則改訂について (高橋会長)

新潟ロータリークラブ定款及び細則について、『手続要覧』の改訂に対応するため、改正案の御承認を7月1日の理事会で頂き、皆様へ7月16日に郵送させて頂きました。本日現在の会員数は94名、出席者は61名です。配布致しました案の中で定款第7条第4節移動ロータリアンは移籍ロータリアンと訂正させて頂きます。皆様、改訂に賛成頂けます場合には拍手をお願い致します。～拍手～。ありがとうございました。

### (6) 委員会報告

・遠藤克也国際奉仕委員会委員長

第2560地区国際奉仕フォーラムに参加報告

7月13日に、長岡まちなかキャンパスで開催された「2014-2015年度国際奉仕フォーラム」に参加してきました。このフォーラムには、佐々木ガバナーや山本ガバナーエレクトをはじめ地区役員14名と地区内の各クラブから47名、合計61名が参加いたしました。冒頭佐々木ガバナーより『ロータリーで最も大切なことは「約束を守る、ことが基本』との話がありました。また佐々木ガバナーのご挨拶のあと佐渡南RCの渡辺会長から、6月末に台湾・原民RCと友好クラブ締結、現地で開催された記念式典例会の様子を、パワーポイントを使ってご紹介されました。フォーラムの第一部は地区の青木国際奉仕委員長より、ロータリー友情交換についての説明がありました。また青木委員長からは『友好クラブ、姉妹クラブ交換を地区の活動の核とする』とお話をされていらっしゃいました。休憩を挟んでの第二部は横山青少年交換委員長より、青少年交換プログラムの概要、地区一年交換学生募集要項、夏期交換学生募集要項等の説明があり、『青少年交換プログラムはRIの常設プログラムであり、最近は特に青少年交換に関する危機管理が大切である』とお話をされました。当クラブの国際奉仕委員会も、このフォーラムで学習したものを委員会活動に反映させていきたいと思っておりますので、皆様方のご協力を宜しくお願い申し上げます。

・小飯田 澄雄社会奉仕委員長

7月27日の早朝清掃参加の皆さま、ご協力ありがとうございました。約40名のご参加でした。早朝からの雨がちょうど上がりまして海の日の後という事で例年よりも沢山のゴミを回収できました。次の事業は9月7日の交通遺児を励ます果物狩りを予定しています。近日中にご案内をお送り致します。

・岡村 健吉親睦委員長

7月22日の納涼例会例会は皆様のお陰で大変、盛り上がりました。当日配布致しました歌の本、まだございますので、ご希望の方はお持ち帰りください。

**(7) ニコニコボックス紹介**

・若杉 武君 千田英継さんの入会を喜んでニコニコします。

**(8) ・石本隆太郎さんへ**

**マルチプルポールハリスフェ ローピン贈呈**

**(9) 幹事報告（安藤 栄寿幹事）**

・例会終了後、4階「雪椿の間」で新会員オリエンテーションを開催致します。

・納涼例会においてになられた前橋クラブさんよりカリカリ梅をお土産に頂きました。受付にございますので、お帰りの際にお持ち下さい。

**(10) 卓話「美術館は行きにくい？」**

**新潟市新津美術館 館長 横山秀樹氏**



(ご講演レジュメをご本人のご了解を頂き、次ページに掲載致しました。)

**7月29日 理事会報告 出席者8名**

- 1 2014年4月規定審議会立法案の件=会員への案内を承認
- 2 ガバナー公式訪問 (8/5) について=日程の確認
- 3 入会被推薦者審査=承認  
カメイ(株)新潟支店支店長 堀盛富君  
(株)テレビ新潟放送網  
専務取締役 務台昭彦君
- 4 8月のプログラム=承認  
8月 5日 佐々木ガバナー公式訪問  
8月12日 規定休会  
8月19日 卓話 良寛研究所  
所長 加藤僖一氏  
8月26日 卓話 樋木酒造株式会社  
社長 樋木尚一朗氏
- 5 その他  
・定款・細則の確認  
・RA活動費増額申請について承認

(11) 本日の出席率 67.78 %  
(2週間前メーク後 92.31 %)

8月5日の例会予定

ガバナー公式訪問

新潟ロータリークラブ会員専用ホームページアドレス  
<http://www.niigatarc.jp/>

## 「美術館が変わる！」

新潟市新津美術館長 横山港樹

1990年代後半より、「EUにおける都市再生の目標の一つに挙げられ、文化芸術の活用による取り組みが行われている。日本でも、都市再生（町づくり）の拠点に、博物館施設を利用

子供たちの創造性を育成

クリエイティブな才能を育成、国の産業・経済を支える。才能は創造産業の生命線。

教育とアートとの出会い

子供たちの自信の回復、自己肯定感、想像力、創造力、批評的思考力、社会性、協働作業、グループワーク、責任感、基礎学力の向上、コミュニケーション能力（80%の企業が求めているもの）

地域の中で、必要とされる博物館 → 地域や都市を知ろうと思ったら博物館・美術館へ  
これまで、都市計画は芸術・文化と無縁の考え方が中心であった。

現在は、都市政策を語るにあたって、芸術・文化は欠くことができない。→ 都市再生

芸術文化による影響力（総務省・経産省）	→	経済振興・創造産業
行政施設との連携（文科省・厚労省）	→	教育・福祉・医療・健康
文化政策（文化庁・国交省・観光庁）	→	町づくり、地域再生、観光

「地域活性化の新しい潮流 2011」 参議院 第三特別調査室 小林美津江  
美術館等の文化施設を核としたまちづくり

観光業に活路を見出そうとする自治体 現在国内旅行は約20兆円規模の市場

「新成長戦略」において「観光立国・地域活性化戦略」

訪日外国人2500万人を達成した場合の経済波及効果を約10兆円、新規雇用を56万人と見込んでいる。

文化芸術が地域活性化の切り札

地域の魅力や知名度アップによる観光客の誘致など経済波及効果が期待できる。

地域住民にとって、精神的満足感や地域に対する愛着・誇りが生まれる。

美術館が変わる !!

これまで美術館が持っていた機能；資料収集・調査研究・整理保存・展示教育

新たな機能；教育普及事業「人材の育成・支援、教育との連携・博学連携、精神的な癒し、創造性の触発、高齢者社会への対応、地域社会との連携、コミュニケーションの場」